

トンボはドコまで飛ぶかフォーラムの活動について

代表 吉田洋子

今年度は12年目の活動となり、いろいろ新しい試みを行ってきました。一つ目は子どもたちと一緒に実行してきた「トンボとり大作戦」を年に一回やるのではなく6月から10月まで入船公園、JFEトンボみちで毎月開催したことです。夏休み一回だけですとなかなか継続して関わる子どもの発掘にならないため、このような方法を取りました。毎月行ったことで夏の大作戦を含めて多くの子どもたちが参加しました。

二つ目は、中小企業向けの企業緑地講習会を行ったことです。これは12月に企業関係者を含めが48名参加のなかなか盛況な講習会となりました。「ルート1の企業緑地に学ぶく小さな緑をつないでつくる生物多様性」という内容で皆様熱心に聞いていただきました。

三つ目は、今年度調査の報告会を「横浜の水辺と緑を考える子ども会議」と同時開催でトレッサ横浜にて行ったことです。この子ども会議は29回目ということでとても長く続いている会議です。子どもたちも熱心に聞き入り、今後一緒に活動したいという声もありました。トンボのぬり絵とヤゴの観察のワークショップも行い、広く多くの方にフォーラムのことを理解していただくよい機会となったと思います。

フォーラムの歩みはゆっくりですが、着実にこれからも活動を続けていきたいと思っていますので、どうぞ皆様よろしくお願い致します。

| 2015 | 2014 |
|------|------|
| 3月 | 4月 |
| 2月 | 5月 |
| 1月 | 6月 |
| 12月 | 7月 |
| 11月 | 8月 |
| 10月 | 9月 |
| 9月 | 10月 |
| 8月 | 11月 |
| 7月 | 12月 |
| 6月 | 1月 |
| 5月 | 2月 |
| 4月 | 3月 |

3月 3日 事務局会議
シンポジウム・調査報告会
29日 トレッサ横浜

報告会チラシ配布
かんきょう横浜連載6

4月 16日 活動計画、助成申請の決定

JFE21世紀財団報告
活動報告書配布

5月 1日 事務局会議

かんきょう横浜連載1

6月 4日 事務局会議
第2回拡大運営委員会
12日 トンボとり大作戦、本調査日程調整、企業緑地講習会検討

トンボとり大作戦
チラシ配布
JVCケンウッド
トンボ池草刈り

7月 4日 事務局会議
第3回拡大運営委員会
17日 本調査実施要領、人員配置等の決定、夏のトンボとり大作戦、企業講習会検討

かんきょう横浜連載2
トンボとり大作戦夏
チラシ配布

8月 本調査(臨海部) 4日~9日・16日
夏のトンボ捕り大作戦(入船公園) 16日
本調査(内陸部) 19日~24日

9月 22日 事務局会議
第4回拡大運営委員会
31日 シンポジウムの調整

かんきょう横浜連載3

10月 第5回拡大運営委員会
19日 企業緑地講習会、報告会、報告書作成について

11月 企業緑地講習会
10日 鶴見公会堂

かんきょう横浜連載4

12月 かんきょう横浜連載5

2014年度
トンボはドコまで飛ぶかフォーラム 活動内容

← トンボとり大作戦 (JFE とんぼみち、入船公園、貨物線の森) 月2回 →

活動ダイジェスト

こ

れまでの本調査12年間で、計22種6888頭のトンボを捕獲標識することができました。企業や公園の緑地がトンボたちにとって里山的役割をはたしていること、新たな池にすぐトンボがやってくるネットワークが存在すること、最優占種シオカラトンボにも種交代のよ

うな逆転がおきること、トンボを通じて臨海部の池と内陸の緑地がつながっていることなど、いくつもの興味深い現象がとらえられています。そして、なによりこうした成果が事業所のビオトープ設置などの環境努力と結びついてい

さ

て、2014年度のトンボ本調査ですが、臨海部と内陸部あわせて12地点、のべ184人の参加者がありました。全地点あわせると11種680頭で、臨海部に限ると7種430頭でした。臨海部でのこの種数は、8月実施となった2004年以降、過去最低でした。例年ほぼ10種だったのが、この年は毎年必ず捕れる基本6種+1種1頭のみだったのです。しかも、どの種も減少気味のなか、シオカラトンボだけが過去最多の253頭と突出した捕獲数を示しました。また、必ず捕れるアカネ属が1頭も捕獲されていないというのも異例でした。

こ

れら新たに直面した現象の理解には、内陸2池、臨海部の通年調査、そして過去の蓄積記録が役立ち

ました。すでに三ツ池ではこれらの現象が先駆けておきていたらしいこと、また、夏の暑さによる出現の遅れかと思われたアカネ属の8月の喪失が、そうではなかったことも裏づけられました。ちなみに、2003年度の調査では、アカネ属は6種160頭も捕れていました。昨年だけの現象なのか、今後を見据えていくと同時に、臨海部ビオトープ群の果たすいっそうの役割が期待されます。
〔文責：田口正男(農学博士)〕



| 調査地点(京浜臨海部) | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 | 16日 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 麒麟横浜ピアビレッジ | | ○ | ○ | ○ | | | |
| JFEトンボみち | ○ | ○ | ○ | | | | |
| JVCケンウッド | ○ | ○ | ○ | | | | |
| マツダR&Dセンター横浜 | ○ | ○ | | ○ | | | |
| 入船公園 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 横浜SF高校 | ○ | | ○ | | | | |
| 北部第二水再生センター | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 横浜技調 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 東芝京浜事業所 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 貨物線の森 | | | | | ○ | | ○ |
| 調査地点(内陸部) | 19日 | 20日 | 21日 | 22日 | 23日 | 24日 | |
| 三ツ池公園 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 二ツ池 | | | | ○ | ○ | ○ | |

トンボはドコまで飛ぶか調査2014(本調査)

- ◆調査日程・調査場所
京浜臨海部：8月4日(月)～9日(土)・16(土)
内陸部：8月19日(火)～8月24日(日)
調査場所別調査日程：左表による。
- ◆調査時間：各地点午前中の2時間
- ◆調査参加者数 調査期間合計 延べ184名

トンボとり大作戦 2014

トンボとりをとおして、自分たちの住む地域の自然環境に興味を持ってもらうため、より多くの機会を子どもたちに提供しようということで、今年は6月～10月まで毎月トンボとり大作戦を実施することになりました。調査を通して飛来するトンボの種類の季節変化も確認しました。

入船公園

例年は、夏に一度だけ開催しているトンボとり大作戦ですが、今年は6月から10月まで毎月1度開催しました。また補足調査として、トンボフォーラムによって毎月1度入船公園でマーキング調査を行い、月2回の調査で入船公園に飛来するトンボの種類の季節変化も確認しました、トンボとり大作戦の開催に先立って、近隣の小学校に宣伝チラシを配布したことが功を奏してか、6月は27人、7月は12人、8月は20人、9月は6人、10月は15人と延べ80人もの子どもたちが参加してくれました。参加者は親子連れや兄弟や友達同士での参加が多かったように思いますが、毎回1人で参加してくれた昆虫少年も現れ、将来が楽しみです。今回のトンボとり大作戦では、環境活動の仲間の山村さんに蝶やバッタなど、身近な昆虫の観察会を特別に実施していただき、トンボがあまりとれなかった日にも楽しみが多いプログラムとなりました。

6月から10月までにアキアカネ、ウスバキトンボ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、シヨウジヨウトンボ、チヨウトンボ、ギンヤンマの7種類131頭のトンボを捕獲・マーキングしました。季節的には、初夏に大陸から渡ってくるウスバキトンボや秋に山から下りてくるアキアカネの飛来が例年より少しだけ遅かったように思いましたが、田口先生の報告（P14～10）では、それ以上の変化があるようです。興味ある方は、是非ご一読を。

また今年も、多くの子どもたちの参加を期待しています。
（よこはま里山研究所 島村雅英）



JFETトンボみち

JFETトンボみちにおいては、休日遊びに訪れた子どもたちに声をかけて、トンボとりへの参加を誘うことにしました。すると、例外なくすべての子どもが参加してくれました。同伴の保護者のなかにも楽しそうに参加してくれる方もいます。トンボとりだけでなく、トンボ池の生きものにも子どもたちは興味津々です。モツゴ、メダカ、エビ、ヤゴなどを捕獲して水槽に入れて観察してもらいました。また、池の周りなどの石のすきまにひそんでいるカナヘビを一生懸命に追いかける子どもたちもいました。

自然との共生に向けて、チヨットしたきつけが、未来を担う子どもたちの目を開かせることを信じて、今後もこの活動を続けたいと思います。



おじいちゃんと一緒に（9月21日）

【実施記録】

実施期間… 6月～10月

実施回数… 計10回（原則月2回）

実施時間… 1回2時間

（原則9時～11時）

参加人数… 小中学生延べ26名

捕獲頭数… 計77頭（新規68頭、再

捕獲9頭）

捕獲種数… 8種（アキアカネ、コ

ノシメトンボ、ウスバキトンボ、

オオシオカラトンボ、シオカラト

ンボ、シヨウジヨウトンボ、チヨ

ウトンボ、クロスジギンヤンマ）

（トンボみちファンクラブ 柴田芳宏）